

# 日本共産党

をのぼして

## 「戦争立法」ノー 憲法をまもりぬこう



「憲法9条のもとでは集団的自衛権の行使は許されない」——これは戦後半世紀にわたる歴史が覆ってきた憲法解釈でした。それを一片の「閣議決定」で覆し、日本を「海外で戦争する国」につくりかえる。こんな強権・独裁政治があるでしょうか。「戦争立法」を許さず、力をあわせて戦争への道をストップしましょう。乱暴な手法で自分たちの政治をすすめられないのは、安倍政権の弱さで行き詰まりのあらわれです。「亡国の政治」を許さず、日本に民主主義を取り戻そうではありませんか。

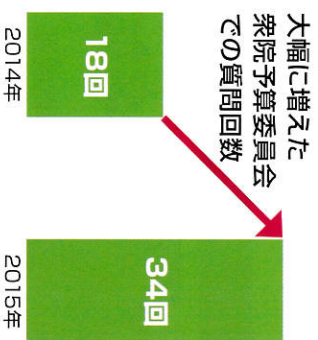


1万4000人が参加した「安倍政権NO!」  
☆0322大行動」=3月22日・東京

### 国政選挙の躍進で

## 提案力、発言力がぐんぐん伸びています

参院選、総選挙の躍進で日本共産党は国会議員数が2倍以上になりました。獲得した議案提案権を活用して、「ブラック企業規制法案」を提出。政府も5111事業所の調査にのりだし、82%で是正勧告を行っています。総選挙後の国会には、「政党助成金廃止法案」「企業・団体献金禁止法案」も提出しています。



長きにわたるご支援に、心より感謝を申し上げます。議員活動からは次期の選挙で勇退しますが、日本共産党のさらなる躍進へ、引き続き力を尽くします。

参議院議員  
党副委員長  
市田 忠義



## 参議院比例代表は「日本共産党」と政党名をお書き下さい

2016年参院選  
比例代表予定候補紹介  
(1次分)

# 日本共産党

850万票で比例8議席以上を



「戦争する国」づくり、原発再稼働、消費税増税——

## 安倍政権の暴走ストップ

### 国民の願いが生きる新しい政治を

国民多数の声にそわいて、暴走を続ける安倍政権。日本共産党は、悪政をストップし、国民の願いが生きる政治をつくるために、一昨年の参院選、昨年の衆院選に続き、来年の参院選では、比例代表で過去最高を超える850万票、得票率15%以上を獲得し、比例8議席以上をめざします。このたたかいの先頭に立つ、比例予定候補8人(1次分)を紹介します。

日本共産党後援会全国連絡会ニューズ特別号

2015年4・5月号外【部内資料】

発行●日本共産党後援会全国連絡会 〒151-0055 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-29-12 北参道タイムズビル2205 ☎03-5474-4811





# 2016年参院選

# 日本共産党 比例代表予定候補の横顔

【主な活動地域】近畿



だいもん 実紀史

## 大門みきし

参議院議員 59現

1956年京都市生まれ。神戸大学中退。参院3期。党参院国対副委員長。

【主な活動地域】東京



たむら ともこ

## 田村智子

参議院議員 49現

1965年長野県生まれ。早稲田大学卒。参院1期。党中央委員。

【主な活動地域】北海道、東北



岩淵 とも

## いわぶち友

党福島県常任委員 38新

1976年福島県生まれ。福島大学卒。党県被災者救援対策本部長。

【主な活動地域】北関東



奥田 ともこ

## おくだ智子

前埼玉県議 46新

1968年埼玉県生まれ。東京家政大学卒。鳩ヶ谷市議、埼玉県議を歴任。

朝日新聞が企画した、すべての国会論戦をした議員に贈る賞で「敢闘賞」を受賞。「現場主義」を貫き、阪神・淡路大震災以来、被災者支援の制度創設・改善に力をつくしてきました。座右の銘は「意気に感じる心」。本家は大阪の造り酒屋。生まれ育った近畿で党躍進の先頭に立ちます。経済問題の普書も多数。

【主な活動地域】南関東



しいば 寿幸

## 椎葉かずゆき

党千葉県書記長 38新

1976年千葉県生まれ。千葉大学卒。党准中央委員。青年・学生運動に尽力。

子どもの貧困対策、医療・介護の充実から、米軍基地、戦後補償問題まで政府に厳しく迫ります。1期目から各地をどびまわりパワース全開。電機業界のリストラでは、現場の運動と結んで、大臣に「退職強要」の調査を約束させました。2人の子の母。「子どもの生命、笑顔を守りたい」の思いを胸に、2期目へ。

【主な活動地域】東海、北陸信越



武田 りょういち

## たけだ良介

党長野県常任委員 35新

1979年長野県生まれ。信州大学卒。民青同盟長野県委員長など歴任。

「原発事故を絶対にくり返させない」「被災地を切り捨て、再稼働を狙う安倍政権の暴走を止める!」—「原発ゼロ」の願いを福島から力強く訴えます。米どころ会津で育ち、農家や働く人たちへの思いは1人一倍。「だれもが人間らしく生きられる社会を」を胸に、今度こそ国会へ。

【主な活動地域】中国、四国



はるな 直章

## 春名なおあき

元衆院議員 55新

1959年岡山県生まれ。高知大学卒。96年から衆院議員2期。党中央委員。

議員としての実力は試されずみ。子ども医療費の無料化拡大、介護保険料のひき下げなどを、市民と力をあわせて実現してきました。小学生の子をもつ親として、安倍内閣の「戦争する国づくり」、「原発再稼働」は絶対に許さない。「子どもたちの命と未来のために政治を変えよう」と熱く訴えます。

【主な活動地域】九州・沖縄



伊勢田 りょうこ

## いせだ良子

党福岡県副委員長 40新

1974年福岡県生まれ。中村学園短大卒。党准中央委員。

これまで10年以上にわたって、若者や学生、高校生と一緒に、派遣労働者実態調査、学費値下げ・奨学金の拡充、東日本大震災ボランティア、核兵器廃絶の運動にとりこんできました。「だれもが生きていよかつたと思える社会を」「若者を戦争に行かせない!」—若者の未来を奪おうとする政治の転換に燃えています。

3人の子の父親。「うちの子も、どの青年も、決して戦場に送らない!という決意はゆるぎません。東日本大震災や長野県栄村の地震被害では、自ら支援活動のボランティアを募り、若者の雇用実態調査、「原発ゼロ」などの運動もすすめてきました。いのちを脅かす政治を変える、フレッシュな力です。

2期7年で、240回を超える国会論戦を展開。米軍機低空飛行訓練・岩国基地強化入トツプ、伊方・島根原発再稼働反対、上関原発ノー、中山間地と農林漁業を守れと、各地を駆け巡っています。中国、四国の願いと怒りを国会に届ける「試されずみの政治家」。いまこそ出番です。

学生時代は、「就職難に泣き寝入りしない女子学生の会」の福岡での創設に参加。党派をこえた運動をひろげ、社会に大きな反響をよびました。いま2歳と5歳の母親として憲法と平和を守る先頭にたっています。九州・沖縄から、日本共産党初の女性国会議席に挑みます。